

## 会議結果報告書

令和6年11月25日

会議の名称	令和6年度 第2回舞鶴市文化事業企画懇話会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年11月20日(水)19時00分から19時40分	
開催場所	舞鶴市総合文化会館 研修室1	
出席者	<委員> 福本委員長、椿副委員長、塩見委員、曾根委員、仲野委員、山本委員 <事務局> 三方生涯学習部次長他2名	
議題	(1)令和7年度事業計画について (2)その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果及び主な意見等	別添会議録のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市 生涯学習部 文化振興課 TEL ( 0773 ) 66 - 1019	

## 令和6年度第2回舞鶴市文化事業企画懇話会 会議録

日時：令和6年11月20日（水）19：00～19：40

場所：総合文化会館 研修室1

出席：塩見委員、曾根委員、椿委員、仲野委員、福本委員、山本委員  
（事務局）三方次長、後係長、森下

会議内容：

1. 開会
2. 議題：（1）令和7年度事業計画について  
（2）その他
3. 閉会

### 【委員からの主な意見】

- 2.（1）令和7年度事業計画について

#### ■事務局より

・今回は主に第2次舞鶴市文化振興基本計画にも定めている「普段文化に触れる機会の少ない市民」や「外国人」向けの事業について今後どのような事業を計画していくべきかご意見をいただきたい。

#### [外国人向けの事業に関する意見]

- ・舞鶴市内で生活する外国籍の方は近年増えていると感じる。外国人が先生となって得意な分野を舞鶴市民へ発信する教室等を開催すると、多文化交流になって良いと思う。加佐では、シンガポール出身者による料理教室等を開催し、好評だった。
- ・舞鶴市はウズベキスタンと縁がある。舞鶴市内の学校給食にウズベキスタンの料理を提供すると、子ども達もウズベキスタンについて覚えてくれた。
- ・各国のあいさつ等の違いを集めてみても面白いと思う。
- ・過去には、クルーズ船を誘致しそこで着物体験を実施していた。座禅や茶道体験も喜ばれていた。このように文化で人と人をつなぐ何かがあると良い。  
→令和6年度からクルーズ船の誘致が復活し始めており、実際にみなと振興課へ文化団体を紹介した事例もある。公民館や地域の交流センターですでに実施している事業と重複することのないような事業を計画したい。

[普段文化に触れる機会の少ない市民向けの事業等に関する意見]

- ・地域参加型の事業を増やしていきたい。

(例1) 盆踊りや古典芸術(太鼓、落語等)を取り入れた事業

盆踊りは、子どもからお年寄りまで参加できる地域の伝統文化のため、より広く市民に文化に親しむ機会を提供できると同時に、地域でこれまで受け継がれてきた伝統文化の継承にもつながる。

→福知山市立中学校では授業で盆踊りを実施している。

(例2) ちゃったまつりに絡めた参加型事業

これまで前夜祭で行われていた舞鶴小唄や舞鶴音頭を復活させ、練習会や遊び感覚で参加できる企画を行う。

また、文化団体のパフォーマンスや発表の場も復活できると良い。

- ・赤れんが博物館前のスペースを活用したイベントを増やすべき。

→令和5年度には南野陽子さんのコンサートを同スペースで実施した。ユニークベニューのような場所での見栄えの良い事業となった。

- ・徳島県の阿波踊りは、毎日公演を行う程地域に浸透している。舞鶴市でも、アーティストが定期的に活動を披露する場所があれば良い

(例1) 赤れんがパークで定期的に活動を披露する場を提供する事業

赤れんがパークの来場者の滞在時間は長くないと聞いたため、赤れんがパークで発表会を定期開催すれば、より来場者の滞在時間が長くなるとともに、発表会とは異なる目的で赤れんがパークに立ち寄った方にも文化に触れる機会を提供することができる。定期開催することで、文化で生計を立てられるアーティストも増えるのでは。

- ・クリスマスマーケットを実施するのはどうか。

→良いと思う。赤れんがパークでは、令和6年度の赤れんがバザールを冬季にも開催することも検討されていると聞いた。

- ・ロビーコンサートについて、本番の様子をオンデマンド配信してはどうか。

→撮影動画等をアップする媒体やサイトによっては許可料の金額に差があるが、権利関係さえクリアすれば可能ではないかと思うため今後検討する。

- ・ストリートパフォーマンスの許可を取れば、路上でパフォーマンスができる地域がある。このような制度もあってもよいのではと思う。

[その他の意見]

- ・令和7年度の事業計画について、昨年度から継続されている事業が多いと感じる。継続も大事だが、次第にマンネリ化し、市民の参加人数も減少する。少しでも何か事業内容を変えて変化をつけるべき。

## 2. (2) その他

### ■事務局より

- ・第1~2回の懇話会にてご提案いただいた内容を踏まえ、事務局で今後の事業について検討し、令和7年2月頃を目途に報告する予定。